

明るい地域社会を!!

日本赤十字活動資金にご協力ありがとうございます

日本赤十字社は、国内の災害時の救護をはじめ国外の紛争・自然災害の被害者に対する緊急救援活動など様々な人道的活動を行っています。これらの人道活動は、多くの皆さまの温かい善意によって支えられています。

平成30年度 日赤社資報告 (H31.1.31現在)		東日本大震災義援金 (市原市地区受付分H30.12.31現在)	平成30年7月 豪雨災害義援金 (市原市地区受付分H30.12.31現在)
総 額	14,342,558円	総 額 28,603円	総 額 1,282,937円
一般社資 町会(自治会)を通じてのご協力	14,052,540円		
法人社資 奉仕団・事務局を通じてのご協力	290,018円		

市原市社会福祉協議会は日本赤十字社市原市地区の事務局を担当しています。

平成28年 熊本地震災害義援金 (市原市地区受付分H30.12.31現在)		平成30年 北海道胆振 東部地震災害義援金 (市原市地区受付分H30.12.31現在)
総 額	95,702円	総 額 525,752円

- 国際活動の充実
- 災害救援体制の充実強化
- 健康・安全のための知識と技術の普及
- 赤十字奉仕団の活動
- 青少年赤十字の活動
- 赤十字精神と社資の普及
- 義肢製作所の運営

赤十字活動は皆さまの温かいご支援により支えられています。

あなたの特技を活かしてみませんか?

こちらボランティアセンターです

ボランティア相談受付中

「ボランティアを始めたいけどどうしたらいいの?」「ボランティア活動中だけど困ったことがある」などの相談を個人・グループ問わず受付けています。お気軽にご相談下さい。

第31回NHK厚生文化事業団 地域福祉を支援する「わかば基金」

【支援対象】◎地域に根差した福祉活動を行っているグループ ◎任意のボランティアグループまたはNPO法人
【申込締切】平成31年3月29日(金)必着【郵送のみ】

問合先 社会福祉法人 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 TEL:03-3476-5955 mail:info2@npwo.or.jp

部門及び助成金額・内容
①支援金部門:上限100万円
②リサイクルパソコン部門: パソコン3台まで
③災害復興支援部門:上限100万円

問合せ先 ボランティアセンター TEL 20-3100 FAX 22-3031 受付時間 月～金(平日) 8:30～17:15

共に生きる

姉崎保健福祉センターに寄贈!!

平成30年2月3日(土)に開催された「平成29年度市原市人権・男女共同参画フォーラム」において、金澤翔子さんが席上揮毫されたものを、市より姉崎保健福祉センターに寄贈されました。ロビーに飾ってありますので、お立ち寄りの際には是非ご覧ください。

「東京都千葉福祉園」お花見会 雨天決行

【日 時】平成31年4月7日(日) 10:00～14:00
【場 所】千葉県袖ヶ浦市代宿8 東京都千葉福祉園 総合訓練センター及び桜並木周辺
【催し物】生産品販売、フリーマーケット、プラスバンド演奏、模擬店、チアリーダーの披露もあります!
【その他】駐車場につきましては、係員の指示・誘導に従ってください。

ボランティア募集!!

当日、ご利用者さんに付き添って、一緒にお花見会を楽しんでくださる方、販売などの補助をお手伝いしてくださる方を募集します。時間は、9時30分集合、14時30分散りです。昼食は施設でご用意いたします。

【締切日】3月18日(月)

問合先 東京都千葉福祉園 ボランティア担当(山口) TEL:0438-62-6991(直通)

ありがとう 寄附

(12月～1月) 敬称略

- 住友化学労働組合 千葉支部 50,000円
- 青葉台ボランティアの会 37,938円
- 明治安田生命 労働組合 千葉南支部 雑巾 250枚
- 布夢布夢作品展一同 38,827円
- 匿名 光風台在住 20,000円
- 匿名 若宮在住 6,000円
- 匿名 平田在住 30,000円

社協だよりは、1月・5月発行(町会回覧)3月・9月発行(新聞折込)されます

いちばら 社協だより

http://www.ichihara-shakyo.or.jp E-mail info@ichihara-shakyo.or.jp No.228 2019 3月号

社協だより5/20、1/20発行号は、町会長の皆様にご協力いただき町会回覧にて世帯配付しています。

【発行】市原市社会福祉協議会 〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4 TEL.0436(24)0011 FAX.0436(22)3031

笑顔あふれるまちに

～共同募金運動にご協力いただきありがとうございます～

赤い羽根共同募金運動【10月1日～3月31日】

「住民相互の助けあい」

募金の約70%は、私たちの町を良くするために使われています。

集まった募金の約70%は、募金をいただいた地域で使われています。残りの30%は、千葉県共同募金会において、市区町村を越えた広域的な課題を解決するための活動に使われています。また、大規模な災害が起こった際の備えとして「災害等準備金」として積み立てています。

市原市社会福祉協議会に配分された資金につきましては、地区社協活動や福祉団体の育成、ボランティア団体への支援など様々な事業で活かされます。

詳しい赤い羽根募金の使い道は⇒ 赤い羽根データベース「はねっと」 WEB検索

平成30年度 赤い羽根 共同募金報告	総 額 (平成31年2月22日現在)
	11,958,750円

歳末たすけあい運動【12月1日～12月31日】

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」

「歳末たすけあい運動」は共同募金運動の一環として、新たな年を迎える12月の歳末の時期に、住民の参加や理解を得て、歳末たすけあい募金、福祉バザー、街頭募金活動等、皆様にご協力いただき実施しました。

平成30年度 歳末たすけあい募金実績	平成30年度 福祉バザー実績
総 額 2,366,022円	総 額 2,691,782円

ご協力いただいた募金等は、地域福祉の事業を強化推進する為に活用させていただきました。(なお、残金につきましては、サロン事業等の在宅福祉サービス等へ活用させていただきます)

平成30年度 歳末見舞金配布実績
総 額 2,040,000円

生活が苦しい中、公的な援助を受けず頑張っている方々に対して、民生委員・児童委員の皆様にご協力をいただき「歳末見舞金」を配布しました。

平成30年度 地域福祉支援事業実績 (37団体)
総 額 1,445,000円

困りごとを持つ方(世帯)への支援(個別(訪問)支援型事業)と地域の幅広い人々が参加する地域福祉活動(交流型事業)を住民の理解・協力を得て実施しました。

街頭募金にご協力いただきました。



身近にあるあたたかい気持ち

～あなたの住むまちの地区社会福祉協議会～

PART

2

市内11地区において、地区社会福祉協議会(地区社協)が設置されています。

それぞれの地区社協では、住民参加・住民主体による住民同士の支え合い助け合いにより、生活課題を抱える方を地域で孤立させないための居場所づくり、日常生活上の相談やちょっとした困りごとを解決するための取り組みなど、地域の実情にあった活動を推進しています。



姉崎



有秋



地域みんなで支え合い・助け合いの あるまちづくりをめざします!

日ごろより姉崎地区社会福祉協議会の事業並びに活動に対し、ご理解とお力添えを賜り、誠にありがとうございます。
それぞれの地域において、人々が安心して暮らせるよう、地域住民や社会福祉協議会関係者がお互いに協力し合い、地域社会における福祉課題の解決に取り組む所存でございます。

今後も地域の皆さまのご協力をいただきながら、子どもから高齢者まで住み慣れた地域、心豊かに安心して暮らせるような仕組みや、人と人とが繋がり、困った時には助け合う「顔の見える関係づくり」、そしておたがいを認め合い支え合う「共に生きるまちづくり」を、社会福祉協議会関係者一同、更に進めてまいります。皆さまの今まで以上のご支援ご協力をお願いいたします。

姉崎地区社会福祉協議会 会長 相川 敏子

ふれあい・いきいきサロン ふれあい会食会

ひとり暮らし高齢者の健康保持と地域社会との交流促進を図るため、毎月1回開催しています。

開催日 毎月第4水曜日 10時30分～ 会場 姉崎公民館



ふれあい・いきいきサロン ふれあい茶話会

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯にふれあいの場を提供し、地域との交流促進を図るため、毎月1回開催しています。

開催日 毎月第2金曜日 13時00分～ 会場 姉崎保健福祉センター(アネッサ)

ふれあい・子育てサロン わくわく

子育てについて悩みを持つ親の相談会、交流会及び講習会を開催するなど、子育てを支援するため、毎月1回開催します。

開催日 毎月第3金曜日 10時30分～ 会場 姉崎公民館



災害支援ボランティア事業 (災害リスク研修)

「姉崎地区の災害リスクと災害時の姉崎地区社会福祉協議会の地域への関わり」をテーマに研修会を実施しました。今後も継続して災害時の支え合い・助け合いづくりに向けて、研修等を実施します。



小域福祉ネットワーク 連絡会議

地区内の小域福祉ネットワーク間の横のつながりや、小域福祉ネットワークと地区社協間の連携・協働体制をより強化するための連絡会議を開催しています。

姉崎地区内の小域福祉ネットワーク

姉崎小学校区小域福祉ネットワーク／明神小学校区小域福祉ネットワーク
青葉台小学校区小域福祉ネットワーク

問合せ先 姉崎保健福祉センター(アネッサ) TEL:62-8601

この他にも、相談支援事業、地域交流事業、広報紙の発行など、様々な地域福祉活動に取り組んでいます。

地域みんながつながり、 支え合い・助け合うまち、有秋

皆様には、日ごろより有秋地区社会福祉協議会に対し、ご理解ご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。
有秋地区社会福祉協議会は、地域の多種多様なニーズを調査・把握し、皆様のご協力をいただきながら活動を展開しております。

地域の高齢者・子育て家庭の居場所づくり、見守り支援を目的にふれあい・いきいきサロン茶話会・会食会、子育て会をそれぞれ月に1度実施し、毎月大変多くの皆様にお越しいただき、地域の皆様との関係構築と地域ニーズの把握につながっております。

活動に際し、今後とも皆様からのご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

有秋地区社会福祉協議会 会長 宮本 民男

ふれあい・いきいきサロン 茶話会・会食会

有秋地区にお住まいの65歳以上の高齢者の方等を対象にボランティアさんによる余興や健康講話、季節に合わせた食事・お菓子の提供をしています。

茶話会 開催日 毎月第2火曜日 13:00～15:00 会場 有秋公民館

会食会 開催日 毎月第4水曜日 11:00～12:30 会場 有秋公民館



子育てサロン

就学前児童とその保護者を対象に、子育てに対する疑問や悩みを解決するとともに、地域での仲間づくりの場となることを目的に実施しています。

開催日 毎月第3木曜日 10:30～12:00

会場 有秋支所



健康増進講座

高齢者の健康増進を目的としています。桜台自治会・椎の木台自治会・いちほろ緑園都市町会の順で年1回ずつと有秋地区社協茶話会で開催し、講師を招いて、合計で年に2回実施しています。



小域福祉ネットワーク 連絡会議

地区内の小域福祉ネットワーク間の横のつながりや、小域福祉ネットワークと地区社協間の連携・協働体制をより強化するための連絡会議を開催しています。

有秋地区内の小域福祉ネットワーク

有秋南小学校区安心安全ネットワーク
有秋西小学校区小域福祉ネットワーク
有秋東小学校区福祉ネットワーク

問合せ先 姉崎保健福祉センター(アネッサ) TEL:62-8601

この他にも、相談支援事業、広報紙の発行など様々な地域福祉活動に取り組んでいます。

